



『**靈魂の舟は**
神の操縦にゆだねましよう
神は この舟をよく守り
港まで導いてくださいます』
 (聖フランシスコ・サレジオ)



お知らせ

6月のミサ

9日(日) 第2曜日

23日(日) 第4日曜日

☆6/16(日) みことばの祭儀後、
 分かち合いします

(みことばの祭儀は 10時～)

今年分かち合いは、原則、第2日曜日の主日に
 「宣教司牧方針」をよく読み「宣教司牧方針の
 三つの柱」について話し合い、分かち合って
 11月の献堂記念日までに自分たちにとって
 何が大切なのか酒田教会としての取り組み
 計画を作成していきたいと思ひます。

6月スケジュール

2日(日) キリストの聖体
 みことばの祭儀

9日(日) 年間第10主日
 ミサ
 話し合い

16日(日) 年間第11主日
 みことばの祭儀 10:00a.m.
 分かち合い(終了 12:00)

23日(日) 年間第12主日
 ミサ

30日(日) 年間第13主日
 みことばの祭儀
 教会内清掃

ミサ・みことばの祭儀 11:30a.m.

6月朗読当番

2日 キリスト の聖体	祭壇奉仕	荻原徹	23日	祭壇奉仕	荻原徹
	第1朗読	高橋泉		第1朗読	折坂志津枝
	第2朗読	ヤグナ		第2朗読	高橋泉
9日	先唱	柿崎圭介	30日	先唱	柿崎圭介
	第1朗読	折坂志津枝		第1朗読	今野幸子
	第2朗読	佐藤浩子		第2朗読	ヤグナ
16日	先唱	西村浩太郎			
	第1朗読	今野幸子			
	第2朗読	齋藤純子			

祈禱の使徒
 教皇の意向
 祖国から逃れる人々
 日本教会の意向
 病に苦しむ人たち





父からの教訓

英国の思想家チェスタートーンは、ブラウン神父刑事の探偵小説の中で次の会話を展開します。

刑事は犯罪者に言います「神様はあなたの犯罪を見た。そして神があなたを裁くでしょう」それに犯罪者は答える「神ですって、その神はいったいどこにいるのですか？」その時、刑事は犯人の胸を指差しながら「神はここにいます。苦しむあなたの心に・・・神から逃れることはできません。これから神はあなたを追うのでしょ。良心の呵責を感じさせて」と犯人に言いました。

この会話を讀んだとき私は父のことをふと思い起こしました。聖書はわかりにくくて面白くないと私が言った時、父は答えました。

「聖書は神様があなたを愛していることを教えてくださいよ」と。ある日、私はいたずらの現場で捕まえられ家まで連れ戻された。両親は私を連れ戻した人に詫げる間に、私は急いで二階に上がり、ベッドの上でうずくまった。しばらくすると父が上がってきて私のそばに座った。そして「声が聞こえなかったか」と私に尋ねた。私は驚いて「何の声ですか」と答えたとき、父は静かに続けた。

「あなたの心の中の声ですよ。その声を聞いたはず・・・これはばかばかしい、この行いはよくない、それをしないほうが良い・・・その声が聞こえなかったか」

「その声なら聞いたと思うよ」と私は答えた。

「それはあなたの中に生きている神様ですよ。神はあなたを愛しています。あなたを助けます。善い行いを選び、悪い行いを避けるために・・・これからその声をもっと大切にしてください。そうです。神様はあなたを愛しています。お父さんも同じだ。おやすみ」と言いながら父は部屋を出た。

公園を歩き、またピクニックに出かけるとき、子供を肩車に乗せて歩く父親の姿を見るとき、スペインのサーカスのモットーを思い出します

「強いものは下。弱いものは上。子供はてっぺんに」

皆さんの父親も皆さんを肩車に乗せ、社会の視野を広くしてくれた。その父親に「ありがとう」という言葉を時々聞かせ、喜ばせてください。

“ God Loves you・・・and your father loves you, too・・・ Listen to their voice.”

(神はあなたを愛します・・・そしてあなたの父もあなたを愛します…彼らの声を聞きなさい)

(ステファノ・デランジェラ落ち葉「いい人生と言うために」より)

